

令和3年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第6回 議事録

●日時

令和4年2月26日(土) 18:00~19:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(大澤、澤野、長谷川、前刀)、会計(下山)、財務特別委員長(今井)、伝統文化委員長(市橋)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(齐木治郎)、企画広報副委員長(柴田、林)、専務理事(溝口)

【針綱神社】岡地宮司

【理事】枝町組理事(代理)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(山田)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(長岡、小島)、鍛冶屋町組理事(市橋義和)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、余坂組理事(大澤憲司)、外町組理事(伊藤尚宏)、内田町組理事(伊藤一則)、坂下大本町組理事(一色、中村)、鶴飼町理事(松田)

【企画広報委員】齐木美加、前田、吉田昌司、梅田、高木

【犬山市】歴史まちづくり課(市野主査)、観光交流課(新原課長、小林主事補)

【その他】保存会事務員(竹村)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

1. 令和4年犬山祭
2. 会員制運用
3. その他

●配布資料

- ① 現時点での令和4年犬山祭開催方針（交通規制エリア・予定表）
- ② 車山運行予定図
- ③ 犬山祭幹旋購入申し込み表
- ④ 犬山祭実施に向けた電線等の点検について
- ⑤ 令和4年版犬山祭における「新型コロナウイルス感染拡大防止策のお願い」
- ⑥ 犬山祭 セルフ健康チェックシート
- ⑦ 令和4年度犬山祭傷害保険及び賠償責任保険補償内容のご案内
- ⑧ 犬山祭参加申込書 参加者名簿、会費等の取りまとめ方法
- ⑨ 令和3年度の町内補助金の支出報告について

●議事内容

I. ①会長挨拶

- ・会長： 祭が近づいてきたが、なかなか難しい状況になりつつある。この前の理事会でもギリギリまで協議を重ねつつ方向を検討していくという方向で議論しているが、日々状況が変わりつつあるので、皆さんのリアルな状況と本音を聞きながら方向性を決定していきたい。忌憚のないご意見をお願いしたい。

私の意見を述べると、止めるのは簡単だが、我々の先輩たちはどんな局面に遭遇

しても、どうやって歴史をつないでいくか、コミュニティや人の営みをつないでいくかに苦心して、ここまできた。知恵を出し合って真剣に議論しながら、先輩が残してくれた文化遺産をこれからもつないでいくことが大事だと思うので、祭の楽しい雰囲気反した重い会議になるかもしれないが、真剣なご議論を賜りたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

- ・練野町の國香欄の中幕の復元新調と、からくりの復元がされたので、それをお披露目する案内状を町内の皆さんと保存会の方々に配らせていただいた。こういった時勢ではあるので参加されない方もいるかもしれないが、3月にフロイデで行われるので、ご参加いただければと思う。

また今度から理事が交代となるのでお願ひしたい。

坂下大本町の理事も交代となる。

- ・会長代行：3月上旬にまん延防止が延長されるかどうか含めて、今後の方向性を把握して、3月下旬に決定していくというのが今のところの方針である。

また、今年度の犬山祭の会員参加者名簿を配らせていただいたが、個人としても町内としても、任意という形をとったらどうかと思っている。その辺りを踏まえて議論をしていただきたい。

- ・観光交流課：祭をやる前提でガードマンの必要な人数を計算すると、その確保のために急がなければならないので、早めに祭の方向性を出してほしいということでお願ひをしていた。2日間で必要な人数についてお話をさせていただいた時、それでは少ないのでは、という話が出たので、そこまで大勢はいらないのではと思うが、多くのガードマンを確保するためには急いでいただければならない。
- ・会長：その際には金銭的な負担も発生するので、そのことについて情報共有してみなさんで決めなければならない。

祭をやるということで100人のガードマンを雇うとなったが、結局止めることになった場合、費用はどのような形で出てくるのか、といったこともある。

- ・観光交流課：費用については、契約した段階で手数料の10%を必ず払わなければならない。実際には3日前であればキャンセル料はかからない。手数料の10%は20万円ほど。

②報告事項

II. 議題

1. 令和4年犬山祭

- ・会長代行：理事の皆さんには、前回の理事会以降、祭の方向性に関して、町内に持ち帰っていただいて、町内でもご検討いただいたと思うが、その結論についてのご報告をお聞きしたい。

【16 町内理事】

- ・非常に慎重で、祭については2月6日の町内総会の時点では正直なところ、無理ではないかというのが町内の意見。会員の会費と名簿については進めていく状態。把握はできている。
- ・2月に役員会と臨時町内総会があり、そこで会費制と祭について話をした。状況としては、参加の方向。小学校などで、クラスターで一部の学校が閉鎖になっているという状況もあり、個人の判断というものが大きい。会所場でも親御さんにお伺いをして、無理に参加しなくてもよいとお声がけしてやっていく。今後も状況が読めないところがあるが、町内としては現状ではやれる環境であれば参加を考えている。
- ・やる方向で進めている。
- ・役員会を開き、コロナの状況を見て考えて、不参加ではないが、やれるとしたら、車山倉の前で車山を出して幕を立てて飾り車山にしよう、という形で進めている。

- ・やれる方向で準備はしているが、祭の参加についてはもう一回総会で皆さんの意見を聞いてみる予定。反対という人が何人かいたら、そういう意見も聞かねばならない。
- ・2月に総会をやる予定だったがこういった状況なので、書面決議を行った。町内の方向性としては、現在申込書を配っているが、子供さんの親御さんが、この状態ならばやらない方が良いのでは、という意見も来ている。町内の方向としてはやることを前提として進めているが、この先の状況によって、不参加という形になるかもしれないが、現在はそのように進めている。
- ・役員会を行い、その中の意見として、2日の場ならしを行って夜車山もやるという確認をしたが、3日の神前での13輛勢揃いであらくりをするというのは、かなり人が密集するということであり、現時点では現実的ではない。場ならしをやって、車山の点検を兼ねながらやろうという意見でまとまっている。
- ・現状の縮小案で参加を考えている。会所場と車山組みも一週間前に行う方向で検討中。
- ・町内総会は3月なので町内としての総意が出るのは今後となる。小太鼓の親御さんの反対を心配していたが、積極的な反応で、会所場も2月23日から始めた。例年は2月後半にまとめて行うが、日曜日限定で3月いっぱいやるという方向性。てこさんとも連絡をとりながら参加申込書の対応をしている。町内としては現状では縮小案で進んでいきたいと思っている。
- ・1月に各町内の集会があり、みなさん縮小案に賛成という感じだった。文書で詳細を伝えた。町内としてはほぼ全部参加する予定。1月から準備を始めて2月の初めには動き始め、参加者名簿も会費も完了済。全部参加するという前提で進めているので、それに対して保護者から若干危惧する声もあったが、突き進んでいる。

個人の参加は任意のはずだが、今までは足並みをそろえてやっていたので、任意ということを強調するのであれば、保護者の意向を聞かねばならないのではと困っているところである。

- ・参加するという意向で動いており、町内では反対意見はない。チラシを回覧して、積極的に参加したいという人は最低限確保している。保護者の方も参加という声をいただいている。奉納の順番は、普段通りだと相当後ろになるが、子供が小さいので、時間的に大変ではないか。子供の間でコロナが流行っていることもあり、できれば早めに帰らせて頂けたらと思う。

- ・会長代行：結論は今のところでないような状況だが、多数の町内にご参加していただけるということで、祭の規模を拡大させない縮小案として進めていきたい。

先ほどのご意見でもあったが、13輦車山を揃えることが、人を集める状況を作ってしまうので、ここについては、先のコロナの状況を考えて縮小せざるを得ない場合もあるかと考えているが、何か意見があればお聞きしたい。

- ・会長代行：企画をしたことへのクレームはあるかもしれないが、それぞれの町内と
いうか、保存会には責任は問われないのではないかと思う。

- ・現状だとこのまま高止まりが続いて、縮小案でいくのなら、神社に行くのは各町内の判断で良いのでは。

- ・会長代行：従来の保存会全体の方向性というよりも、町内それぞれのやり方で今回はやる、という形になるように話が進んでいるが、そのような形でやっても良いという承認をいただければ、そのような方向性としてほしい。はっきりとこうやりたいと言って頂ければ、理事の皆さんで承認したうえで進めるという形になる。

- ・観光交流課：まん延防止終了の3月6日が過ぎてもどうなるのかは返答が帰ってきていないのはっきりした事は言えないが、縮小案で必要な人数は確保しておきたいし、保存会の動向を把握したうえで警備会社に連絡しなければならない。

- ・会長代行：それは日曜日に13輦を神前に持っていくことで変わるのか。

- ・観光交流課：車山を動かすということで交通規制をかけねばならないので、警備員を配置しないと警察も許可してくれないという感覚だった。

- ・会長代行：一番の問題として、人流に関して企画委員会で検討していただいている。

- ・観光交流課：コロナ禍における安心安全の手本となる祭をどのようになるのかは保存会で決定することなので、その様に決めていただければと思う。
- ・二日間もやる必要があるのか。縮小といっても、車山が出れば絶対に人が出る。SNSですぐに拡散される。日曜日にどれくらいの人数が出るのか怖いくらいである。しかし、半日町内だけを曳いて車山倉の中でお囃子をして、人を集めない方向でお祭をやる、子供の小太鼓のためにもなしとすると伝承の問題もあるし、年齢制限もあるので、上級生の子はお祭無で卒業してしまうし、太鼓や笛も忘れてしまうとなると、伝承問題に絡んでくる。人を集めない祭、車山運行をしてもらえたらいいのではと思う。
- ・会長代行：現状は前回の理事会で出された縮小案で進んでいる。今のご意見については、この状態のまま町内の皆さんも進めていただいていると思っているが、この縮小案でやらせていただいてもよいのか。
- ・いつ最終の結論の決定をするのか。
- ・3月6日にまん延防止等重点措置が切れるのかどうかはまず焦点。その後の2週間後ほどでまた理事会を開く予定。3月中頃に最終結論を出す。
- ・6日に最初の状況判断をするとのことだが、各町内によって事情が異なる。気持ちは前向きだが、やれる範囲が異なる。飾り車山のみという考えもあるが、町内の事情ということでよろしいか。今の縮小案にすべて沿わなければならないということか。
- ・会長代行：最大限やれる範囲としてここまではどうか、という形で提案させていただいている。6日で延長されたら状況も変わるので、それ次第でまた違ってくる。
- ・どれくらいの車山が集まって奉納して披露するのかによって違ってくる。それによってはやめようか、という意見が出てくる可能性もある。どの時点でこういう情報を出せるかということを確認にいただけると我々も判断しやすい。

- ・ 1週間ごとの各町内の状況を集めて周知してフィードバックしていただけるとありがたい。判断の1つの材料になる。どの時点で判断をすればいいのか悩ましいところである。
- ・ 会長代行：3月19日に最終の結論を出すという形で進めている。
- ・ 会長代行：3月6日の規制解除の可否によって、また19日の状況によって、最終的に理事の皆さんの判断を仰いで犬山祭の運行を決めていきたい。
- ・ 3月19日が最終決定ということだが、その前で、やはり町内で辞めようということになった場合には事務局に報告すればよいのか。
- ・ 専務理事：事務局に報告していただきたい。随時状況をお伺いする予定である。
- ・ 会長代行：今後の予定表について。
- ・ 専務理事：予定していた3月19日の幟立ては行わない。また27日予定のてこ固め式も、セレモニーは行わないという方針に則って中止とする。
- ・ 専務理事：警察署で話し合いをした時に、地域課から要請があった。2日の場ならしが漠然としているので、厳密に、車山が何時から動くのか、からくりはどこでやるのか、数町内が道路を横断するのは何時になるのかといった明確な情報が欲しいということだった。そのためにひな型を用意したので、そちらに即して書いていただきたい。お忙しいところ申し訳ないが一週間ほどで出していただきたい。書き方についての質問は事務局に問い合わせしてほしい。警察も人事異動があり、新しい人で、犬山祭を見たことが無いということだった。
- ・ 副会長：警察署にて、例年の祭よりも規制時間も短いと言ったが、犬山祭を担当するのは初めてらしいとのことだった。地域課が、特にコロナのことを気にして話していた。雑踏が集まって密になるのを避けたいということで、

やる以上は対策を万全にしますとお答えした。あくまでも概略で良いので、この時間にこの辺りにいるといった形で記入していただきたい。

- ・専務理事：先日、全国山鉾連合会の本部から、36団体に、それぞれコロナ対策がどう行われているかという問い合わせがあった。検査キットでPCR検査をやったらどうかという話だが、品不足で無理とのことだった。関係者からは、感染予防対策の徹底をお願いする事になる、という内容の通達であり、我々のコロナ対策と一致している内容である。
- ・会長代行：例年だと各理事さんに運行表が渡るところだが、今回は出ても自町内、隣の町までということになると思うが、そのタイムスケジュールはこちらでは書けないので、各町内でスケジュールを作って準備をして頂く形となる。その中でどう運行するのかを検討していただきたい。
- ・専務理事：事務局に直接手渡しして頂いてもいい。
- ・会長代行：犬山警察が、2日は松岡精肉店、3日はからくり新館2Fが詰所となる。
- ・副会長：練り物3町内については、広場に集まって頂いた時点で、どこかの町内がからくりをやっている最中だった場合、からくりが終わった時点で出て行っていただくので、何時に神社に集結するのかの目安を教えてください。
- ・役員会も開けない状態で、一週間で提出するのは難しいのではないか。
- ・専務理事：今の時点の、やるという前提で書いていただくということである。
- ・副会長：ざっくりとした時間帯の記入でよい。
- ・専務理事：可能ならば各町内に警官を一人つけたいという意向があるために時間帯の詳細を聞きたい、ということである。

- ・会長代行：時間が余ると思うが、そのような形で書いていただきたい。

次に犬山祭幹旋購入申込表について。一週間以内に書いてご提出していただきたい。

- ・専務理事：ローソクの注文もあれば書いて提出していただきたい。
- ・会長代行：電線点検について。この時間帯にお邪魔するので理事の皆さんはよろしくお願ひしたい。
- ・神輿について。神輿巡行については本楽の車山が出られる時間帯になるべく早く出ていきたいと考えている。お祓いは10時10分ごろより行いたい。神輿巡行については後世に伝えていかねばならない。何年も空白が出来ると分からなくなってしまう。また状況が分かり次第お伝えする。接待はないという形である。
- ・企画広報委員会：「令和4年版犬山祭における新型コロナウイルス感染症拡大防止策のお願い」について。担い手の項目の中で、ソーシャルディスタンスの確保ということが書かれていたが、車山を曳いていると無理ということなので、車山を曳いている以外の行列従事者の方の距離を確保して十分注意していただくという形に変えた。

また、お神酒以外のアルコールの摂取は厳禁とするという強い言葉に変えた。ウイルス感染症拡大防止ということで、厳しく皆さんで守って安全な祭にしていけたらと思う。ぜひとも皆さんのご協力をいただきたい。

去年も実施させていただいた健康管理チェックシートに基づいて、皆さんの健康を管理して、祭当日の参加の判断の基準にさせていただけたらと思う。こういった文化的なもの、祭に関するガイドラインは一切無いので、野外イベントのものを参考に作らせていただいた。

- ・会長代行：チェックシートを厳密にやって頂き、事故が無いようにしたいので、コロナ対策をしていただけたらと思う。

- ・専務理事：次に、「令和4年度犬山祭傷害保険及び賠償責任保険補償内容のご案内」について。補償金額として各金額が書かれている。高額になっているが、保険期間を二日間に限定したため。準備や祭が終わった後などの二日以外の場合は補償金額の半分となる。賠償責任保険は観客の方に対する補償。
- ・専務理事：保険料は出来る限り保存会が負担させていただくが、賠償責任保険料は行政の観光交流課が負担していただける。また、傷害保険は怪我に関するもので、病気は保険の対象とならない。コロナの感染は対象にならない。

2. 会員制運用

- ・会長代行：犬山祭参加申込書、参加者名簿、会費等の取りまとめについて。これはやってみえる町内の方もいると思うが、実際にやってみて不都合などがあったらお聞きしたい。
- ・会員証の扱いはどうなるのか。
- ・専務理事：今はまだできていないが、3月中には会費を払っていただいたところには必ず会員証を届けるようにする。現在企画委員会の方で検討している。名刺のような会員証になるということである。
- ・参加申込書の名簿作成の役職名について。小太鼓連の親御さんも含まれると思うが、何と書けばよいのか。町内の車山蔵の留守番役の方や、その他にも、保護者、主婦の方も参加申込書にいくつかお名前をいただいているが、そういった方を何という役職でつけばよいか。
- ・専務理事：小太鼓付き添いでどうか。また町内独特の言い回しの役職名については、欄外に書いていただければありがたい。町内独自の名称で書いていただいて簡単な注釈をつけていただきたい。

- ・自町内は曳き回しやお囃子はやらないが、名簿をどう作ればいいのか相談させていただきたい。
 - ・会計：補助金について。昨年と全く同じ考えで、例年通りの祭が行われないうことで、お祭に参加されないという町内もあるので、本当に必要なものに限って補助の対象にしたいということである。てこ半纏を作る際の証拠の写真等もつけさせていただいた。去年同様と考えていただければよい。
 - ・歴まち：昨年度の各町内の支出報告は分かりやすく決算の報告をする際に助けていただいた。昨年度同様の写真と簡潔な説明文の書類を作って頂ければと思う。
 - ・祭参加に関して、練り物3町内として足並みは揃えたいと思っている。
 - ・専務理事：草鞋をつくっていただいているシルバー人材センターの方8名が賛助会員として
- 、お祭にご協力いただけるということでご応募いただいた。

3. その他

- ・お祭当日の衣装はどうすればいいのか。通常どおり羽織紋付袴となると、借りなければならぬ。
- ・会計：45万で余るようであれば、買って頂きたい。
- ・今回は縮小なので、紋付袴でなくてもいいのではないか。
- ・会長代行：役員は着させていただくが、理事の皆さんは着やすい衣装でやって頂ければと思う。
- ・先日説明会で、会費を寄付と同じような恰好にする、というお話があったが、今まで会員会費制を議論する中で、参加者＝会員＝会費ということにな

っていたと思うが、それを寄付と同じ扱いでやるということは、おかしいのではないかと思う。その時の質問は、犬山祭に参加しなかった場合は返す、返さない、という話も出た。参加費＝会費＝会員ということであるならば、祭をやらなかつたら返金するというのも常任理事会で検討すべきだと思うが。

また会員会費制である程度の費用が集まったと思うが、以前の理事会で、それを研修費にあてさせていただきたい、という話があったが、これはどうなのか。祭の参加費を集めるのならば、祭に直接関するような、例えば基金として積み立てるといった方向もあると思うが、それも検討していただけないか。

- ・会長：これは議論したところではあるが、会費は寄付ではない。性格が違うものである。一人一人が主体者になるという証の行為である。
- ・専務理事：今ご指摘いただいた通りで、今回、祭参加申込書という書き方は誤りであり、正確には保存会年会費と書くべきであった。来年度からそのように書き直させていただきたいと思う。事務局として陳謝させていただく。
- ・参加費としてやってきたと思っていたが、祭に参加しないなら戻ってくるという理解で考えていたが、参加しなくても戻ってこないという理解で良いのか。
- ・祭に参加するには保存会に入らなければならないということか。今までは町内あって保存会があると思っていたが。
- ・会長：今回の改革案は、保存会員で犬山祭をやろうというものである。
- ・会費を保存会費として取るということであるのなら、社員総会を開いて決めていただきたい。そういう意味として考えていない。

- ・会長：歴史的に難しい問題である。かつては町内をベースとして犬山祭をやってきた。
- ・常任理事会で話をし、理事会に持って行って頂きたい。
- ・会長代行：先ほどの専務理事のお話にもあったが、名称については問題があったと思う。会員になって頂いて自主的に祭に参加していただく、ということである。町内の部分が抜けない所があるので、そこを一度整理していただいて、保存会員として祭に参加していただくということである。一度会員になっていただいたらその一年間は会員ということである。社団法人としてやっていく上で、会員という形で進めていきたいという方向で考えている。
- ・会長：一般社団法人と、以前の祭保存会とは決定的に違う。法人格というのは、保存会に人格が与えられており、会員の一人一人が構成員であるから、法的には町内は関係がない。町内が祭を支えてきた歴史があるので、難しいところだが、社団法人になった時点において、そのような考え方に変わったということである。

理事の皆さんには大変感謝している。町内のさまざまなご意見をまとめるということは本当に大変なことであると思う、その中で少しでも皆さんの意見を取り入れて町内をおさめようと努力しておられる理事の皆様には感謝している。地域のことも町内のことも、そういったモラルに支えられてこの犬山祭はずっと続いてきている。

一般社団法人としての犬山祭のビジョンは、つなぐ、ささえる、ひきつぐということであり、これは我々の地域コミュニティをつなぎささえひきつぐのと同時に、ふるさとの脈々とした歴史をつないでいくということであり、それがこのコロナ禍における議論の難しいところである。こういう中で皆さんのお力をお借りしたいと思っている。

●次回日時

3月19日

●次回場所

からくり館2階

●記録日

令和4年3月6日

.

●記録者

竹村

●署名

石田芳弘

多和田兼道